

4. 計画の目標

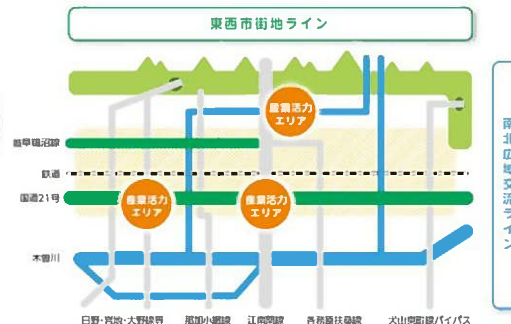
都市の将来像

誇り
新しい
人づくり 地づくり

笑顔があふれる元気なまち
～しあわせ実感 かかみのはら～

やさしさ
新しい
心づくり

活力
新しい
元気づくり

交通の
将来像

鉄道やバスを利用して、皆が健康で、安心かつ快適に暮せるまち

基本理念

皆で育む公共交通

公共交通の基本方針

1 各務原市が目指す交通体系の姿を皆で共有します

2 多様な交通手段が連携した環境にやさしい公共交通ネットワークを形成します

3 住宅団地の高齢化など市民の移動ニーズに応じたサービスを提供します

4 公共交通の維持・活性化に向けた三位一体の取り組みを進めます

公共交通ネットワークのサービス

- 鉄道及び路線バスを公共交通軸としてネットワークを形成します。
- 各地域から東海中央病院へは、病院の受付開始時間帯に乗り継ぎなし、もしくは1回の乗り継ぎでアクセスできるようにします。
- 各地域から乗り継ぎ拠点となる鉄道駅へは、乗り継ぎなし、もしくは1回の乗り継ぎでアクセスできるようにします。
- バスの定時性が確保できるよう、1路線の所要時間は、概ね1時間以内とします。
- ふれあいバスは1時間に1本の運行水準を目指します。

目標とする成果指標

[前期基本目標（目標年次：平成31年度）]

- 鉄道（16駅乗車数）、路線バスの利用者数：現状維持
[H24 市内鉄道駅乗降者数:14,505千人]
[H24 路線バス利用者数:475千人]
- 日頃バスを利用する人の割合：32%以上 [H25 27%]
- ふれあいバスの年間利用者数：20万人以上 [H25 16万人]
- 公共交通利用の不満割合：現状未満 [H25 26%]